

11. アメリカンフットボールロボットの製作

機械システム科

山崎 虎太郎 開 俊大 中田 湧 沢田 聖
尾嶋 大和 中堀 善之 信谷 陸

◆研究目的

大会が中止になったため、新しいロボットの制作とロボットの性能の評価をする。

Since the tournament has been canceled, we will create a new robot and evaluate the performance of the robot.

◆研究方法

去年の先輩方の試合や反省点などから、去年のロボットよりも強いロボットになるように改良する。

From last year's seniors' games and reflection points, improve the robot so that it is stronger than last year's robot

◆結果

- ・ ボディーを重心が低く安定性が増すように設計・製作した
- ・ ボールを上手く運べるようにネットをつけた
- ・ モーターとドライバを去年より性能の良いものに取りかえた



◆考察

去年の反省点を活かし、タイヤやモーターの取り換え、ネットを取り付けるなどして、より性能の良いアメリカンフットボールロボットを制作することができた。

◆反省点

- ・タイヤが外れることがある
- ・コードが基盤から外れることがある
- ・機体の操作が難しい
- ・機体の強度が低く接触に弱い